

九・二九橋下打倒集会に全国から四五〇名結集 民営化・外注化に全員解雇絶対反対！！

昌一金属支部 K

去年の九・二六、今年

の二・二四に続いて三回目となる橋下打倒集会が開催され、大阪の自治体労働者を中心に全国から四五〇名が参加されました。

初めに「闘う労働組合からのアピール」があり、港合同から中村副委員長のアピールがありました。都構想問題、民営化と全員非正規化攻撃・入墨処分などと数々の問題発言が目立つ存在になっている橋下について、怒りのアピールが印象に残り

ました。

大阪市職のAさんは「橋下は自腹などのミスや、ささいな事故でさえも現場の責任にし始めた。これが民営化という事で



す。

タバコ一本、数回のマイカー通勤で停職などの重処分はその始まり。團結すれば勝てる。闘わない組合本部の下では團結



は組織できないし、本部は現場から見向きもされません。こうした中で入墨調査を拒否し、処分攻撃とたたかっていることの意義がますます鮮明になってきました。当初の「逆らうなら解雇」と言わんばかりだった市長の迫力はもうありません。現場には怒りも團結もある。足りないのは闘う執行部と方針だけだ。労働組合を私たち現場労働者の手に取り戻しましょう！」と力強くアピールされました。

カンパ金は九万四六五〇円が集まり、その金額からも、今回の橋下打倒集会に対する気持ちが現

組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう！

れた数字になりました。

特別報告では大阪市職



労働者の他に大阪市交通局労働者、斎場解雇撤回裁判を闘う原告団からのメッセージなど、心の底から怒りをあらわにして報告される一面もありました。

最後は、我が支部の書記長よりまとめと団結ガンバローを行い、梅田阪急ナビオ前まで一時間のデモをして終わりました。

今回の集会で、更なる団結を結び闘うことを確認し、色々な闘いが今現在あることを認識して、ますます手を取り合うことを忘れないで最後まで闘い抜く事が大切だと感じました。

一九九八年、全日建関西生コン支部、動労千葉、そして私たち港合同の三組合が「たたかう労働組合の全国ネットワークをつくらう！」と全国に呼びかけました。以降、たたかう仲間たちの賛同と協力によって毎年十一月に集会を積み重ね、今年の十一月・三集会で十六回目を数えます。

今、国鉄改革法を盾にした「JRに法的責任無し」の大嘘が暴かれ、国鉄分割民営化の矛盾が噴出し、国鉄闘争が重大な局面を迎えています。労働組合が戦闘性を取戻し、団結を拡大するチャンスです。

十一月三日、東京・日比谷野音に結集しよう！

新自由主義とたたかう労働組合の全国ネットワークを

11.3 全国労働者集會

11月3日(日)正午 東京・日比谷野音大ホール

今こそ闘う労働組合を全国の職場に！

国鉄1024名解雇撤回！JRの業務外注化阻止！

安倍政権の改憲・PPP・民営化・特権自由・非正規化攻撃をとめる！

反原発・反失業！全世界の労働者と団結し「生きさせる」の大反乱を！

主催：全日建関西生コン支部、動労千葉、港合同

後援：全日建生コン支部、全日建生コン支部、全日建生コン支部、全日建生コン支部、全日建生コン支部

連絡先：全日建関西生コン支部 電話：06-6644-1111 FAX：06-6644-1112

組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう！